

気仙沼市（仮設住宅戸数:3,504戸 民間借り上げ住宅申請件数:1,724件）						
	復興支援CO	生活支援相談員	生活相談員	友愛訪問員	地域支援員	NPO
委託元(担当課)	気仙沼市高齢介護課		気仙沼市高齢介護課	地域包括支援センター	まちづくり推進課	気仙沼市高齢介護課
予算	社会的包摂・「絆」再生事業		サポートセンター事業	緊急雇用創出事業	復興活動支援事業 (復興応援隊)	緊急雇用創出事業
人数	17名	34名	・気仙沼地区SC 9名 ・本吉地区SC 3名 ・唐桑地区SC 3名 ・一関地区SC 6名	34名	10名	
委託先	気仙沼市社協 (地域福祉課ボランティアセンター)		・気仙沼市社会福祉協議会 ・社会福祉法人 春圃苑 ・有限会社 笹陣 ・特定非営利活動法人なごみ	湖聖会、(株)ハック、 みずなしの丘、村伝、 リバーサイド春圃、な ごみ、土筆の里	震災復興 まちづくり推進課	気仙沼復興協会 福祉部
担当エリア	全市と仮設住宅のある一関市		・旧気仙沼市地区(仮設住宅) ・本吉地区(仮設住宅) ・唐桑地区(仮設住宅) ・千厩地区(仮設住宅)	大島を除く全仮設住宅	全仮設住宅	全仮設住宅
活動内容	仮設住宅	・被災者訪問 ・相談 ・見守り活動 ・コミュニティ形成支援 ・住民参加の共同交流イベントの実施とそのボランティアコーディネート	総合相談の実施や交流活動等により、孤立化・ひきこもり等を防止し、安心した生活が送られるよう支援する 看護師・保健師による健康相談	ケアマネが入っていない65才以上の高齢者の訪問、見守り	・各自治会役員(主に会長)のサポート ・集団移転の勉強会、説明会のコーディネート	・「お茶会」の開催 ・入居者自身の企画したイベント補助 ・コミュニティペーパー「いどばた」の作成
	みなし仮設	・被災者訪問 ・相談 ・見守り活動 ・コミュニティ形成支援 ・住民参加の共同交流イベントの実施とそのボランティアコーディネート				
	在宅	・復興支援COについては、生活支援相談員より福祉的な視点を持つ				
その他 (連携状況等)	・気仙沼NPONGO連絡会(まちづくり推進課、気仙沼市社協、気仙沼復興協会、気仙沼地区SC、一関地区SC)・週一回、唐桑、本吉それぞれNPO/NGO連絡会・月一回の一関を合わせた各地区支援者ミーティング(サボセン・社協ボラセン・健康増進課・包括・友愛訪問員・各NPOなど参加)・地区民児協定例会・週一回、気仙沼復興協会、まちづくり推進課、社協ボラセンによるボランティア調整会議					

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。  
みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email: renpuku@gmail.com

南 三 陸 町 ( 仮設住宅戸数:2,195戸 民間借り上げ住宅申請件数:338件 )

		生活支援相談員	訪問介護員	復興まちづくり推進員		
委託元(担当課)				宮城大学		
予算		サポートセンター事業／緊急雇用創出事業	サポートセンター事業／緊急雇用創出事業	三井物産環境基金		
人数		130人				
委託先		南三陸町社協		宮城大学		
担当エリア		被災者生活支援センター (戸倉サテライト、入谷サテライト、志津川サテライト、歌津サテライト、南方サテライト、横山サテライト)				
活動内容	仮設住宅	「滞在型支援員」 ・仮設住宅に居住する者が同団地内の登録高齢者等の安否確認を行う ・訪問対象は70才以上の独居、老夫婦世帯、50歳以上の男性独居世帯、その他見守りが必要と思われる世帯 ・担い手は原則60才以上の本来見守りの対象になるであろう者(社会参加レベルの向上)	「巡回型支援員」 ・個別訪問を行い生活ニーズを把握し、孤独死を予防する ・サロン活動によるコミュニティ形成支援			
	みなし仮設	「訪問型支援員」 ・県内のみなし仮設住宅を訪問し、帰郷の思いを断ち切らないよう支援(一か月250軒程度)	「兵站型支援員」 ・後方支援(支援物資の配送、ボラセン支援、サテライト支援等)			
	在宅					
その他(連携状況等)						

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください  
みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email: renpuku@gmail.com

石 巻 市 ( 仮設住宅戸数:7,297戸 民間借り上げ住宅申請件数:6,849件 在宅被災世帯 約1万世帯 )						
		復興支援CO	エリア主任	訪問支援員		
委託元(担当課)					被災市民生活支援課	
予算		社会的包摂・「絆」再生事業				
人数		15人	15人	128人	45人	
委託先		石巻市社協			在宅避難者世帯サポートセンター (石巻医療圏 健康・生活復興協議会)	
担当エリア		総括センター (開成、大橋、蛇田、万石、大森、雄勝、河北、河南、桃生の各ささえあい拠点センター)			石巻市沿岸部	
活動内容	仮設住宅	相談員のフォロー 各社協事業との調整	・エリアのまとめ ・相談記録のまとめ	・定期訪問 ・安否確認 ・情報提供 ・コミュニティ支援		
	みなし仮設				在宅被災世帯調査の中で発見した場合には市役所に報告	
	在宅				・生活・健康アセスメント調査による孤立の防止	
その他 (連携状況等)						

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。  
みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email: renpuku@gmail.com

女川町 ( 仮設住宅戸数:1,294戸(30カ所) 民間借り上げ住宅申請件数:477件 )							
	くらしの相談員 (生活支援相談員)	ここから専門員 (有資格者)	マネージャー (事務職員)	ディレクター (町保健師)	包括支援センター	地域医療センター	復興支援CO
委託元(担当課)							
予算	社会的包摂・「絆」再生事業	サポートセンター事業			包括センター		社会的包摂・「絆」再生事業
人数	14名 (生活支援相談員)	8名(社協2、元気村1、永楽会1、パンプキン2、地域医療センター2)	5名	2名	3名		社協(1名)、 コーディネーター(生活支援相談員)(5名)
委託先	女川町社協 (女川町地域医療センター支援チーム)	社協、元気村、永楽会、パンプキン、地域医療センター			女川町社協		女川町社協
担当エリア	2名/チームを8地区に配置(1チームは2地区をカバー)	社協(2地区) 元気村(1地区) 永楽会(1地区) パンプキン(2地区) 地域医療センター(2地区)		全地域			全地域
活動内容	仮設住宅	同左	契約事務 支援情報システム管理 会議庶務	【役割】1. 各8ブロックの活動把握とコーディネート、2. 関係部署との調整、3. 人材育成(研修企画運営)、4. 全戸訪問等コーディネート、5. 支援情報システムの構築、6. 各地区支援員等課題検討会議運営、7. 出張診療相談企画、8. 心のケアスタッフ育成	要介護等の専門相談		復興支援センターでV調整。地域コミュニティの再生のための企画、実施
	みなし仮設						
	在宅						
その他 (連携状況等)	町内を6エリア、離島、石巻バイパスの8エリアに分けて支援						

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。  
みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email:renpuku@gmail.com

東 松 島 市 ( 仮設住宅戸数:1,753戸 民間借り上げ住宅申請件数:1,345件 )								
	訪問支援員	生活支援相談員	事務員	サロン活動スタッフ	看護職員	復興まちづくり推進員	地域復興推進員	復興応援隊
委託元(担当課)						宮城大学	東松島市(党書)	宮城県地域復興支援課
予算	市委託金 (地域支え合い体制づくり事業)					三井物産環境基金	JICA	総務省 (復興活動支援事業)
人数	28名	6名	6名	5名	2名	1名	3名(現在2名)	7名
委託先	東松島市社協 (生活復興支援センター)					宮城大学	JICA	東松島復興協議会
担当エリア	東松島市内 (3地区、矢本東、矢本西、鳴瀬の被災者サポートセンターを拠点)	東松島市内 (3地区、矢本東、矢本西、鳴瀬の被災者サポートセンターを拠点)	東松島市内 (中央と3地区のサポートセンターに配置)	東松島市内 (中央サポートセンターに配置)	東松島市内 (中央サポートセンターに配置)	東松島市内 (現在は大曲地区懇談会の支援)	東松島市宮戸市民センターに1名、野蒜市民センターに1名)	東松島市内 (3地区に2名ずつ配置、事務局に1名)
活動内容	仮設住宅	(市内全仮設団地) ・戸別訪問 ・相談、見守りなど ・福祉コミュニティ形成支援 ・サロン運営支援など	(市内全仮設団地) ・個別相談への対応 ・訪問支援員のコーディネート ・福祉コミュニティ形成支援 ・サロン運営支援など ・中央サポートセンターや関係機関との連絡調整	・3地区センターの活動スケジュール調整 ・訪問支援記録の管理 ・ミニコミ誌等の発行 ・災害ボランティアコーディネートなど	・地域包括支援センターや病院(PT・OT)と協働で生活不活発病予防事業を7月から実施。3地区の市民センターを会場に、参加者は仮設住宅入居者・在宅者の制限は設けていない。 ・左記、サロン活動のスタッフとしても併任。	・復興まちづくり計画策定にあたって、住民自治組織、NPO、経済団体、福祉団体などの組織などから参加をもらい、東松島市の復興まちづくり計画への思いや考え、意見やアイデアなどを話し合っ、地域ぐるみのまちづくりに繋げていく。	・市民センターにおける復興まちづくり活動への貢献 ・復興まちづくりへの地域住民参加促進への貢献 ・自治協議会・まちづくり協議会等への参画機会が少ない地域の住民(若手世代、子育て世代等)との繋ぎ活動 ・コミュニティ再生のための活動 ・外部団体との連携・調整、環境未来都市構想等の施策等を通じたまちづくり活動への貢献	・住民全体のまちづくり等、地域の事情やニーズに応じて必要なプロジェクトを設定
	みなし仮設							
	在宅			・災害ボランティアコーディネート など	・市内21カ所の集会所等でサロン活動を実施(1カ所月2回程度)。参加者は65歳以上で1会場20名~40名。			
その他 (連携状況等)	※上記の3地区サポートセンターには、それぞれ管理者を配置しています。 (連携体制等) ・民生委員児童委員協議会との連携:みなし仮設入居者の日常的見守り活動を民生委員活動の一環として行うもの(民児協と市、社協で協議進行中)。 ・市保健師との連携:健康・栄養相談会や歯とお口の健康教室の開催に合わせたサロン活動(お茶会など)の実施 ・仮設住宅代表者会議への参加:月1回開催される会議(市が主催)へ市・サポートセンター内職員・復興支援関係者が情報提供・情報共有などを目的に参加 ・復興協議会との連携:NPOや復興支援団体(約30団体)が組織した協議会の定例会議に参加。復旧・復興支援ボランティアの調整などの連携を図っている。 ・市内ボランティア団体との連携:仮設住宅団地内集会所や市内各地域の集会所で開催しているサロン活動への支援を通して連携を図っている。							

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。  
 みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email:renpuku@gmail.com

多賀城市（仮設住宅戸数:348戸 民間借り上げ住宅数:1,158件 在宅(半壊以上):4,122世帯）							
	生活支援相談員	共立メンテナンス職員					
委託元(担当課)	生活再建支援室	生活再建支援室	健康課	健康課	健康課		
予算	社会的包摂・「絆」再生事業	緊急雇用創出事業					
人数	コーディネーター1名 相談員10名 (6.27現在)	22名		10名 (2名1組5班体制)			
委託先	多賀城市社協 (復興支えあいセンター)	共立メンテナンス	緑ヶ丘病院	(株)ホームナース	坂総合病院		
担当エリア	在宅を含めた市全域	各仮設住宅	各仮設住宅		各仮設住宅		
活動内容	仮設住宅	・シルバーふれあいサロン ・復興イベントの調整	・仮設住宅6団地の管理 ・仮設団地のニーズ対応 ・イベント調整(集会所管理) ・戸別訪問 ・仮設コミュニティの事	・こころのケア事業	・健康相談業務 ・巡回訪問(週3回)		
	みなし仮設	・見守りが必要な世帯への見守り支援 ・ふれあいサロンの開催 ・復興イベント実施の調整				健康確認 訪問指導事業	
	在宅	・民生委員、行政区長、ライフラインのメーター検査員等と協力した見守り体制の構築					
その他(連携状況等)	・市役所、社協、民生委員、復興応援団、共立メンテナンスで連絡調整会議を仮設団地ごとに月一回実施 ・生活支援課と共立メンテナンスで週2回情報交換						

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。  
みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email:renpuku@gmail.com

塩 釜 市 （ 仮設住宅戸数:206戸 民間借り上げ住宅申請件数:390件 ）								
		相談員	サポートスタッフ	管理スタッフ	支援CO			
委託元(担当課)								
予算								
人数		2人	3人	3人	1人			
委託先		塩釜市社協 (ふれあいサポートセンター)						
担当エリア		市内全域						
活動内容	仮設住宅	仮設住宅等(避難先や在宅を含む)の要介護高齢者・障害者(児)等の安心した生活を支援するため、仮設住宅の集会所を活用し、専門職種のものによる総合相談や生活支援相談などの実施						
	みなし仮設							
	在宅							
その他 (連携状況等)								

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。  
みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email: renpuku@gmail.com

七ヶ浜町（仮設住宅戸数:421戸 民間借り上げ住宅申請件数:222件）

	VCコーディネーター			生活支援相談員		
委託元(担当課)						
予算	社会的包摂・「絆」再生事業		サポートセンター事業	社会的包摂・「絆」再生事業		
人数	3人		8人	2人		
委託先	七ヶ浜町社協	レスキューストック ヤード/社協 (災害ボランティアセンター「きずな」館)	アクアゆめクラブ (仮設住宅サポートセンター)	七ヶ浜町社協		
担当エリア	町内全域			町内全域		
活動内容	仮設住宅	仮設集会所のイベント調整・町内の自然系のボランティア活動調整 応急仮設足湯支援、民賃への支援、親子向けプログラム、浜の再生プログラム、生きがい、仕事づくり支援、仮設店舗運営等	仮設入居者のメンタルヘルスケアなどの見守りをメインに世話人会運営サポート、コミュニティ支援、情報共有をサポート	町内の在宅高齢者・要支援者の訪問		
	みなし仮設			調査・訪問		
	在宅					
その他(連携状況等)	・仮設住宅支援を市役所、アクアゆめクラブとRSYと町社協で連携を取り実施					

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。  
みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email: renpuku@gmail.com



仙 台 市 （ 仮設住宅戸数:1,523戸 民間借り上げ住宅申請件数:8,724件 ）								
	常設生活支援相談員	巡回相談生活支援 相談員	個別訪問生活支援相談員	絆支援員等	パーソナルサポーター、 プロジェクトコーディネーター 等	生活再建支援員		
委託元(担当課)	自主事業			仙台市市民協働推進課	仙台市市民協働推進課	仙台市生活再建支援室	自主事業	
予算	社会的包摂・「絆」再生事業			緊急雇用創出事業	地域支え合い体制づくり事業	地域支え合い体制づくり事業	社会的包摂・「絆」再生事業	
人数	19人		17人	50人	14人	18人	19人	
委託先	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会 (地域支えあいセンター事業)			一般社団法人パーソナルサポートセンター	一般社団法人パーソナルサポートセンター	仙台市シルバー人材センター	NPO法人POSSE	
担当エリア	仙台市内(応急仮設住宅入居者等) ※常設型 支えあいセンター5箇所 (あおば、たいはく、みやぎの、わかばやし、いずみ)、 ※巡回相談所(市内20ヶ所程度の市民センター)設置			仙台市内(応急仮設住宅入居者)	仙台市内(応急仮設住宅入居者等)	仙台市内(応急仮設住宅入居者)	仙台市内(応急仮設住宅入居者)	
活動内容	仮設住宅	・被災者支援情報等の提供・各種困りごと相談・各種イベントの企画、ふれあいサロン、茶話会等の開催			・関係機関との連携のもと、絆支援員が訪問活動や相談等を行い、必要に応じ専門機関等へ繋ぐなど、被災者の生活再建に向けたサポートを行う	・中間就労体験(手仕事、農業など)を通じた生きがいがづくりや就労意欲向上に向けた支援を行うほか、就労相談窓口を設置し、被災求職者の一般就労に向けた総合的な就労支援(生活支援を含む)を行う	・住まいの再建等、生活再建に関する支援情報提供	・仮設住宅送迎バス運行 ・就労支援 ・就学支援 ※送迎・就学支援は一部のプレハブ仮設住宅のみ
	公営住宅等							
	みなし仮設			・世帯構成員に概ね65才以上を含む世帯、概ね15歳以下の子を含む一人親世帯を対象 ・個別訪問を通じて地域支えあいセンターの事業周知を行う ・孤立を防止するため見守りニーズの把握を行う				
	在宅							
その他(連携状況等)	※必要に応じ、関係機関間において連携・協議を実施している。							

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。  
みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email: renpuku@gmail.com

名 取 市 （ 仮設住宅戸数:861戸(7団地)、民間借り上げ住宅申請件数:1,141件 ）						
	生活支援相談員	復興支援CO	どっと・なとり訪問員			
委託元(担当課)	生活再建支援課		生活再建支援課			
予算	社会的包摂・「絆」再生事業		地域支え合い体制づくり事業			
人数	7人	2人	8人 (LSA6人、事務2人)			
委託先	名取市社協 (なとり復興支援センターひより)		直営	名取交流センター協議会(ともだちin名取等)と協力		
担当エリア	それぞれの仮設 (美田園 他)	市内全域	市内全域、近隣市町			
活動内容	仮設住宅	・担当仮設の集会所に常駐し見守り ・イベント開催及び調整、協力 ・相談業務及び関係機関との連携	集会所におけるイベントの調整、全体コーディネート			
	みなし仮設			みなし仮設、在宅被災者支援		
	在宅			(サロンの開催、戸別訪問)		
その他 (連携状況等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名取市生活再建支援課、介護長寿課、名取市サポートセンターどっと・なとり、保健センター、社協、民生委員児童委員協議会、名取交流センター協議会、大学等と「名取市被災者支援連絡会」を実施し(隔月)。</li> <li>・保健センター、医療・介護・福祉系10団体により健康支援会議を実施(隔月)。</li> <li>・その他ケース検討会議(月2回)</li> <li>・地域包括支援センター、(財)訪問看護協会、復興支援センターひより、保健センター、4者連絡会(月1回)</li> </ul>					

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。  
みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email:renpuku@gmail.com

## 岩 沼 市 ( 仮設住宅数:3カ所、370世帯(970名)、民間借り上げ住宅等:826世帯 )

		生活支援相談員	復興支援CO	生活支援員			
委託元(担当課)		被災者生活支援室		被災者生活支援室			
予算		社会的包摂・「絆」再生事業		社会的包摂・「絆」再生事業			
人数		3人	2人	5人			
委託先		岩沼市社協 (岩沼市復興支援センタースマイル)		青年海外協力協会(JOCA) (里の杜サポートセンター)			
担当エリア		仮設住宅3カ所、みなし仮設等18世帯		仮設住宅3カ所			
活動内容	仮設住宅	コミュニティづくり支援、町内会活動支援、ボランティア受入調整、情報提供(スマイルカレンダー)		個別訪問、見守り活動、安否確認、総合相談、集会所運営サポート、関係機関との連携			
	みなし仮設	見守り活動、巡回訪問、交流の場の提供、生活相談の実施、コミュニティ再生支援、町内会活動支援、ボランティア受入調整、情報提供					
	在宅	浸水地域におけるサロン活動支援					
その他 (連携状況等)		<p>・被災者生活支援関係部局である被災者生活支援室、都市計画課、介護福祉課(高齢者)地域包括支援センター、健康増進課、社会福祉課、子ども福祉課、復興整備課、復興支援センタースマイル(社協)、里の杜サポートセンター(JOCA)が、月に1度集まり、被災者生活支援情報交換会議を実施。</p> <p>・町内会長・区長等役員、行政、里の杜サポートセンター、復興支援センタースマイルが月一回、仮設住宅事務連絡会議を実施。</p> <p>・被災者生活支援室、介護福祉課(高齢者)地域包括支援センター、健康増進課、社会福祉課、復興支援センタースマイル(社協)、里の杜サポートセンター(JOCA)が、2週間に1度集まり、ケース検討会を実施。</p>					

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。  
みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email: renpuku@gmail.com

亶理町（仮設住宅数:1,126戸 民間借り上げ住宅申請件数:720件）						
		生活支援相談員	復興支援Co			
委託元(担当課)						
予算		社会的包摂・「絆」再生事業				
人数		6人	2人			
委託先		亶理町社協 (亶理ささえあいセンター「ほっと」)		亶理町サポートセンター		
担当エリア		仮設5か所	町内全域			
活動内容	仮設住宅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みまもり訪問活動</li> <li>・イベント開催及び調整</li> <li>・お茶会の支援</li> <li>・ほっと通信配付</li> </ul>		全体		
	みなし仮設	今後活動を検討				
	在宅					
その他 (連携状況等)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回サポートセンター連絡会議(健康推進課、包括、被災者支援課、社協)</li> <li>・第2、4月曜ケース検討会議(看護師、保健師、包括、社協)</li> </ul>				

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。  
 みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email: renpuku@gmail.com

山元町（仮設住宅数:1,030戸 民間借り上げ住宅申請件数:769件(町内は73世帯)）				
		生活支援相談員	復興支援CO	サポートセンター事業
委託元(担当課)		被災者支援室		山元町地域包括支援センター
予算		社会的包摂・「絆」再生事業		サポートセンター事業
人数		14人 (臨時職員)	3人 (正規1人、臨時2人)	訪問:3人(保健師、看護師) サロン&配食:7人(栄養士、看護師、介護員)
委託先		山元町社協 (やまもと復興応援センター配属)		訪問:地域包括支援センター直轄 サロン&配食:(社福)静和会
担当エリア		・町内仮設住宅 ・町内外みなし仮設住宅 ・その他、町内	町内全域	・町内仮設住宅(みなし仮設住宅を含む) ・津波浸水地区
活動内容	仮設住宅	・戸別訪問による見守りと寄り添い ・住民が抱える問題を解決へとつなぐ ・民生委員、役場などとの連携 ・週1回のお茶っ子サロン実施、「お茶っ子通信」発行 ・住民主催イベントの手伝い ・仮設集会所利用スケジュール管理及び支援調整 ・その他のコミュニティ形成支援	旧災害VCの活動となるボランティア班担当 (主な活動) ・畑ガレキ除去、個人宅清掃 ・側溝上げ ・イチゴ農家支援 ・町内引っ越し ・ボランティア団体との活動連携	・保健師や看護師による支援の必要な高齢者訪問 ・中山熊野堂仮設住宅集会所を使ったサロン事業(おおむね65歳以上対象一約40人が利用) ・おおむね65歳以上対象に配食サービス(300円/食、昼食のみ)を週2回実施(7月現在41人が利用)
	みなし仮設	・はがきによる安否確認と電話と訪問による寄り添い		保健師や看護師による支援の必要な高齢者訪問
	在宅	・住民主催サークルやイベントの手伝い、協力		
	共通	・4月より町との協働で毎月「ヨツクロ新聞」発行し、町の広報誌と同送し、全仮設住宅(みなし仮設を含む)町外避難世帯に配付		
その他 (連携状況等)		<p>・毎月最終火曜日「山元町応急仮設住宅等連絡会」が開催されている。 行政からの連絡や住民からの要望に対するやり取りなどについても話し合いを実施。 この連絡会で決められたことを元にやまもと復興応援センターで支援調整を行なっている。 ＜連絡会構成メンバー:役場、民生委員、仮設住宅行政連絡員(住民代表8名)、警察署、消防署、社協＞ ・災害ボラ関係は、5月に「町・社協・主要なボラ団体2団体」で今後の活動について協議し、6月より随時「社協・ボラ団体」の情報交換会を実施 ・毎月開催されている民生委員協議会にも必要に応じて、生活支援相談員が参加し、情報交換を行なっている。</p>		